

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナカシマプロペラ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1
----	-----------------------------	----	--

本票作成	部署名：総務部
------	---------

主たる業種	分類コード	23	業種名：非鉄金属製造業
-------	-------	----	-------------

事業の概要	船舶用プロペラの設計・開発、製造、販売	従業員数：414名
-------	---------------------	-----------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	玉島工場	倉敷市玉島乙島8259-12
	②	岡山工場	岡山市東区上道北方688-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	19,365 t CO <sub>2</sub>	18,369 t CO <sub>2</sub>	19,171 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	玉島工場	16,461 t CO <sub>2</sub>
	②	岡山工場	1,908 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	8.4 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		1.316	1.206	1.303
	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

温室効果ガス排出量、原単位共に目標を達成できた。  
 今後は数年間の平均値を目標値以下に保ち、より削減に向けて対応していく。

**【推進体制】**

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場 玉島工場	(平成29年度実施分) ・契約電力を上げ、複数の電気炉を同時溶解することで溶解作業の効率化を実施。(玉島工場) (今後実施予定分) ・小形工場の水銀灯34台をLED照明に更新する。(岡山工場) ・大形工場(北)の水銀灯120台をLED照明に更新する。(岡山工場) ・大形工場(南)の水銀灯40台をLED照明に更新する。(岡山工場) ・コンポジット工場の水銀灯40台をLED照明に更新する。(岡山工場) ・厚生棟の蛍光灯241台をLED照明に更新する。(岡山工場) ・浄化槽を撤去し、下水道へ接続する。ポンプ、ブロワを撤去。(岡山工場) ・天井クレーン用の水銀灯80台をLED照明に更新する。(玉島工場) ・鑄造工場の水銀灯16台をLED照明に更新する。(玉島工場) ・コンプレッサー5.5kW3台を省エネタイプに更新する。(玉島工場)

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・岡山工場において「ライトダウンキャンペーン」に参加。
- ・夏季(7~9月)のピーク時間帯に、系統電力の使用を減らす取り組みとして、13日間の出勤変更を実施。
- ・中国経済産業局主催「省エネ法及び温対法説明会」に参加。